

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	一般事務事業	健康志向の高まりや余暇時間の増大などにより、より健康的で活力のある人生を送ろうという市民の問い合わせ、相談等に迅速で適切な窓口対応を実施します。併せて事務所の維持管理と事務環境の向上に努めます。	平成29年度予算額からの削減率	経常経費以外の一般事務費の削減率を目標とします。	1%	7%		車両の適切な管理により、修繕料と燃料費の削減に努めた。	3	スポーツ文化振興部及びスポーツ振興課の企画関係事務及び一般事務処理の適正な執行に努めた。	現状維持	効率的な窓口事務に努め、市民へのスポーツに関する情報提供を一層工夫すると共に事務管理経費の節減を図ります。また、経理事務について、適正な執行ができるように努める。
スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーション振興事業	スポーツ・レクリエーション活動を通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的とした交流の機会づくりを推進します。また、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興のため、スポーツ教室の開催や各種団体への活動支援などに努めスポーツ・レクリエーション振興を図ります。	スポーツ・レクリエーション活動の振興の指標として、主要な大会等のイベントへの参加者数を定める。	スポーツ・レクリエーションの振興のため、各種取り組みを進めることで、市民が週に1日以上スポーツを行っている人の割合を増加させます。ただし、毎年数値の確認が出来ないため、補足的に主要なスポーツ大会、教室などのイベントの前年度参加者数を上回ることを指標とします。	15,640人	14,842人		ステップアップスクール等については参加者数が増加したが、市民体育大会等については参加者数が減少した。	3	平成29年度においては、2021年度第76回国民体育大会を見据えたスポーツ競技力の向上事業として、市内小中学生を対象とした「ステップアップスクールin津」をバドミントン、テニス、卓球の3競技で開催した。また、昨年度に続き吉田沙保里杯津市少年少女レスリング選手権大会を開催し、全国から昨年度を上回る参加者があった。津シティマラソン大会等の各種大会・教室、イベントの開催やスポーツ奨励の補助、各種団体への支援などを引き続き行い、多くの市民等のスポーツ・レクリエーション事業への参加があった。	拡充・充実	市民のスポーツニーズに対応した多様なスポーツ・レクリエーションの場を引き続き開催する。また、平成30年度全国高等学校総合体育大会や2021年度に開催される第76回国民体育大会を視野に入れて、津市のスポーツ競技力の向上を目指して、スポーツ大会、教室等の事業を引き続き実施する。
スポーツ振興課	スポーツ推進委員関係事業	市民のスポーツ・レクリエーション活動促進のための実技指導や組織を育成するとともに、地域住民に対しスポーツ・レクリエーションに関する指導や助言を行い、本市における地域スポーツの推進を図ります。	委員個々の資質向上を図るための研修会の開催	地域のスポーツ振興の推進役である委員個々の資質向上を図るための研修を年間10回以上開催し、スキルアップにつなげる。	10回	12回		地域でのニュースポーツの普及等のため、委員個々が高い志を持って研修に参加し、スキルアップを図ることができた。	4	地域のスポーツコーディネーターとして地域でのスポーツ事業に係る指導及び助言を行うとともに、各種研修会に参加した。また、自主的に研修会を開催し、委員の個々の資質向上を図った。	現状維持	委員それぞれが、各地域の実情を鑑みながら各種スポーツ事業に積極的に取り組むとともに、全体的なスポーツ事業の企画運営を行った。平成30年度は全国高等学校総合体育大会、2019年度は第60回全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会、2021年度は第76回国民体育大会及び第21回全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、全国規模の大きな大会運営の中核を担えるスキルを身につける必要がある。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	体育館管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>競技場を使用したバレーボール、バドミントン等の他、会議室を使用したエアロビクスや健康体操等、主に屋内スポーツの振興を図るものです。</p>	運動施設利用者数	津市体育館の利用者数（平成24年度実績78,846人の1割増）。	39,423人	46,285人		平成29年9月末を以って津市体育館が廃止となったことにより、年間利用者数は減となったが、半年間の利用者数は平成28年度を上回り、目標値に達成しました。	4	<p>バドミントン、卓球、バレーボールの一般公開の継続。</p> <p>平成28年1月より通常の一般公開日に加え、特別公開日を月1～2日程度設け、定着してきたことにより利用者の増加に繋がった。</p> <p>また、9月30日に閉館イベントを実施したため、利用者の増加となった。</p>	現状維持	利用者に安心・安全かつ快適な施設環境が提供できるよう、市内運動施設、備品の小破修繕、予見される計画的修繕、その他施設の維持管理等に努める。
スポーツ振興課	野球場管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>また、野球等の市民スポーツの振興とともに、高校野球等集客性の高い試合の誘致による、コミュニティの拡大、中心地域の活性化を図ります。</p>	運動施設利用者数	津球場公園内野球場の利用者数（平成24年度実績26,365人の1割増）	26,350人	27,153人		平成28年度に対し利用者増となり、目標値到達となった。引き続き指定管理者との連携や国体開催に向けての改修等も踏まえ、利用者増に努めたい。	2	<p>利用者が不便なく利用できるよう駐車場の整備やグラウンドの機能向上等に努める。</p>	現状維持	第76回三重とこわか国体での利用を視野に、球場内だけでなく、津球場公園全体の整備計画を検討する。
スポーツ振興課	グラウンド管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>それぞれの施設の規模が小さいので大会等の開催はほとんどありませんが、軟式野球・ソフトボールを中心とした屋外スポーツの振興を図ります。</p>	運動施設利用者数	津市北部運動広場、津市南部緑地公園内運動広場、津市乙部公園内運動広場、津市西部運動広場の利用者数（平成24年度実績12,591人の1割増）。	12,591人	11,491人		平成28年度に対し、利用者減、目標値を未達成となった。引き続き指定管理者と連携し、利用者の増、施設の維持管理に努める。	2	<p>平成28年度に対し、天候等の影響もあり、利用者が減となった。</p> <p>グラウンドによっては駐車可能台数が少なく、利用するには不便である箇所や、経年劣化により施設状態が不良となっている箇所があるため、必要に応じた修繕等機能向上に努める。</p>	現状維持	利用者が安全・安心に利用できるような修繕が必要な箇所等については、指定管理者と連携し、積極的な修繕を行い引き続き利用者の増加に努める。
スポーツ振興課	テニスコート管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>硬式テニス・ソフトテニス共に個人の使用からスポーツ教室、市民大会等、幅広い目的で利用されており、今後も市民に身近なスポーツ施設となるよう維持・管理を行いスポーツの振興を図ります。</p>	運動施設利用者数	津市古道公園内テニスコート、津市古河公園内テニスコート、津市入江公園内テニスコートの利用者数の合計。（平成24年度実績54,807人の1割増）	54,807人	51,337人		平成28年度に対し利用者増となったが、目標値未達成となった。引き続き指定管理者との連携や施設の機能向上に努め、目標達成に努めたい。	3	<p>平成27、28年度古道公園内テニスコート6面分の芝張替工事を行い、古道公園内テニスコートについては、より良い施設環境の提供ができた。しかしながら、一部駐車場の不足等が懸念されるため、指定管理者とも連携し、更に利便性の向上等に努める。</p>	現状維持	芝張替等工事を実施したが、駐車場の不足等以前、課題は残っているため、引き続き可能な限り整備に努め、利用率の向上を目指す。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	プール管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>近年のプールは水泳（競技）目的のみならず、水中ウォーキング等の健康づくりにも利用されており、水泳の振興、市民の健康増進を図ります。</p>	運動施設利用者数	津市民プールの利用者数（平成23年度実績69,769人の1割増）。	35,500人	50,157人		9月末をもって廃止となり、6ヶ月分の利用で目標値達成となった。引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理に努める。	4	6ヶ月分の利用であるが、目標値を達成した。9月末をもって廃止し、産業・スポーツセンターへ機能移転を行った。	見直し	津市民プールを9月末で廃止し、また、平成29年10月1日から供用開始した産業・スポーツセンター（サオリーナ）内のプールは、産業・スポーツセンター維持管理事業として指定管理者による維持・管理が行われていることから、他のプールの適切な維持・管理を目的とする。
スポーツ振興課	その他運動施設管理運営事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の適切な維持・管理を行います。</p> <p>海浜公園内陸上競技場は陸上競技場の他、市内で唯一の芝が張られたサッカー場もあり、大会等の誘致を図り、競技振興と交流の機会づくりを図ります。</p>	運動施設利用者数	津市海浜公園内陸上競技場及びテニスコートの利用者数（平成24年度実績14,076人の1割増）。	16,836人	21,979人		平成28年度に引き続き指定管理者の自主事業等の努力により、増加し、目標値を達成した。引き続き指定管理者と連携し、施設の維持管理に努める。	4	目標は達成できているが、老朽化に対応できるよう引き続き指定管理と連携し、計画的な修繕に努める。	現状維持	利用率は徐々に向上しているが、施設については、老朽化が進んでいるため、引き続き必要に応じた整備等機能向上に努める。
スポーツ振興課	運動施設整備事業	<p>スポーツを通して、市民の健康づくりや競技力の向上、コミュニティづくりなどを目的にした交流の機会づくりを増進するため、安全・安心を最優先に各運動施設の計画的な整備を行います。</p>	目標値設定不可						3	津市スポーツ施設整備基本構想に基づき、各施設の整理と整備活用を行っていく。	現状維持	第76回三重とこわか国体に向け、計画的な施設整備に努める。産業・スポーツセンターの供用開始に伴い廃止した旧津市体育館、旧津市民プールの跡地利用について、計画的に整備を進める。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	産業・スポーツセンター整備事業	<p>本市のスポーツ施設については、老朽化した小規模な施設が多く存在し、全国規模の大会等が開催可能で市民の健康増進やスポーツ等を通じた交流の拠点となる施設が少ない状況にあります。</p> <p>そこで平成22年5月に「津市スポーツ施設整備基本構想」を策定し、地域の核となる施設の整備や、総合的なスポーツ施設として大規模大会等が開催可能な拠点となるスポーツ施設の整備方針をとりまとめています。この基本構想を踏まえ、平成23年9月に「津市屋内総合スポーツ施設基本計画」として、総合的な屋内スポーツ施設の整備に向け具体的な計画策定を行い、その計画に基づき平成29年10月1日の施設供用開始に向けて事業を推進するものです。</p>	津市産業・スポーツセンターの工事進捗状況	津市産業・スポーツセンター建設工事の進捗状況	100%	100%		産業・スポーツセンター整備工事、三重武道館弓道場（遠的）新築工事について、完了した。	4	産業・スポーツセンターの本体建設工事については、平成27年4月1日より着工し、平成29年10月1日に供用開始することができた。さらに、三重武道館弓道場（遠的）新築工事について平成30年4月1日に供用開始することができた。	廃止	産業・スポーツセンターを平成29年10月1日に、三重武道館弓道遠的場を平成30年4月1日に供用開始できたことにより事業が完了したため当事業は廃止する。
スポーツ振興課	産業・スポーツセンター維持管理事業	<p>津市産業・スポーツセンターの供用開始に向け、平成28年4月1日より新たな指定管理者による管理運営を行います。民間企業のノウハウや創意工夫に基づいた管理運営により、より質の高いサービスを利用者に提供することで利用者を確保するとともに、管理経費等の縮減を図ることを目的とします。</p> <p>また、既存のメッセージング・みえについては、現状を把握したうえで長期修繕計画に基づき修繕・点検等を実施し、利用環境の向上を図ります。</p>	産業・スポーツセンターの利用者数	平成28年度より新たな指定管理者により管理運営が行われる津市産業・スポーツセンター利用者数を目標と定め、その達成度を計る。	375,000人	380,523人		スポーツ大会、イベントのほか一般利用が多く目標値を上回った。	3	平成29年10月1日に産業・スポーツセンターを供用開始することができた。また、Wi-fi環境の整備により、利用者のネットワーク利用環境の向上を図ることができた。	現状維持	Wi-Fi環境等を維持管理を行い、引き続き施設の利便性の向上を図る。 また、メッセージング・みえについては、長期修繕計画等を基に、優先順位をつけ計画的な修繕を実施する。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
スポーツ振興課	産業・スポーツセンター誘致・PR事業	平成29年10月1日に施設供用開始予定である津市産業・スポーツセンターの施設のPRを行うとともに、各種スポーツ大会、産業振興及びオープニングセレモニーも含めたイベント等の事業誘致を行う。	オープニングイヤー期間における全国規模の大会等の誘致・開催	指定管理者と連携しながら津市産業・スポーツセンターで開催する全国規模のスポーツ大会、興行、産業振興事業等の誘致活動を進めます。	9事業	13事業		観戦型スポーツイベントが4、競技大会として全国規模の大会が6、ブロック規模の大会が14、県規模の大会が52、市規模の大会が53、その他コンベンションが9となり、合計138の大会の開催が見込まれている。	3	津市産業・スポーツセンターのオープニング期間に係るスポーツ大会等の誘致やオープニングイベントへの出演交渉について円滑に進めることができた。また、各種広告媒体等を活用し、施設のPRを図ることができた。休日の施設利用は、満足する結果となったが平日の利用促進を引き続き図っていく必要がある。	見直し	指定管理者が主導となり、引き続き大会誘致、施設PRを推進するよう働きかける。 また、平日における施設の利用促進を図るために、サオリーナ及び三重武道館については、指定管理者のノウハウを活かした自主事業等の実施や、メッセージング・みえについては、商工観光部や関係団体等と連携し、新たな顧客の確保に努める。
文化振興課	津リージョンプラザ管理運営事業	津リージョンプラザは、文化芸術に係る拠点としての取組を進め、市民の文化、芸術の鑑賞や発表、練習の場として活用していただくことにより、市民の教育、文化等の向上を図ることを目的とします。	利用率	人件費を始め経費の削減を図り、利用者の利便性に供する施設を目指すとともに、利用率の向上に努めることとし、一つの目安となる3/4の施設利用率を目標とします。	75%	右記のとおり		お城ホール： 平日 57.1% 土・日・休日 93.9% 全日 72.3% リハーサル室： 83.8% 展示施設： 全日 61.6% お城ホール・展示施設 全日 66.7% 計画的に修繕を実施することにより、安定的な運営が出来たことから利用率向上の目的は概ね達成できた。	3	施設の環境においては、津リージョンプラザ中長期修繕計画に基づき、効果的な修繕を行い施設の適切な利用環境維持を図った。 利用率については、お城ホールは文化事業が実施しやすい土日、休日に利用が集中し、平日の利用率が低い。 展示室及び会議施設は全体的に利用率が低いことから、利用率向上を図るためには、市民による新たな文化事業が実施できるよう、取組を進める必要がある。	拡充・充実	市民が利用しやすい施設にするために、施設の老朽箇所等については、必要な修繕を行い、適切な利用環境の維持に努めるとともに、展示・会議施設について使用範囲を見直し、展示以外の使用を認める等、津リージョンプラザお城ホール及び展示・会議施設に関する規則及び内規を改正することにより、平日のお城ホール及び展示・会議施設の利用率の向上を図り、市民の文化芸術に触れる機会が増加するよう努める。
文化振興課	文化振興事業	住民の誰もが文化に触れ、親しみ、互いに交流ができ、文化を生活やまちづくりに活かすことを目指し、文化芸術活動の充実及び歴史的資源の保存と活用に向けて、市民文化の振興、文化施設の活性化、文化財の保存・継承及び歴史的資源を活かしたまちづくりを目的とした各種事業を推進します。	参加者数	多くの来場者で賑わい、人と人の交流する機会が生まれる場所では、文化意識の高揚がさらに図られ、新たな文化意識も芽生えと考えられ、まちも活性化すると思われることから参加者数を指標にします。	63,850人	58,481人		一身田寺内町への来訪者数が安定しており、実績値の5割を占めている。また、美術展覧会・映画上映会参加者が前年度より2割程度増加しているが、中止などにより開催事業自体が減ったことで、総合的な参加者数が減少し、実績値の低下に繋がった。	3	各文化事業について、年度により増減があるものの、安定した入場者数を得ている。 今後も文化・芸術に触れる機会、文化活動への参加の機会を確保するなど継続した市民の文化芸術活動支援が必要である。	現状維持	市民の文化活動の場と機会の提供としての文化振興の基本施策であることから、ワークショップなど市民参加を促すなど内容の工夫とともに継続実施を行い、また、地域との連携を図りながら、文化ホールを拠点とした担い手育成やホール活用の試みとしての文化創造事業を実施し、今後の具体的な取組に向けた検証をすすめる。

スポーツ文化振興部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）					事業の評価		所管課長等による評価		
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
文化振興課	文化振興基金事業	豊かな文化を育み21世紀に躍動する美しい県都の実現をめざして、文化振興基金運用益を活用し市民や市民文化団体が育む活動を支援します。(文化振興計画(1)-②-8、-9)	文化事業への助成金の交付件数	より活弁な地域の文化団体や個人の文化事業活動の促進が、図られることから、助成金の交付件数を目標値に設定しました。	10件	7件		申請数7件のうち、助成数7件を選考した。	3	助成件数も昨年並みを維持し、継続した市民の文化芸術活動の支援につながっており、今後も基金を利用した事業補助制度のPRに努めていく。 また、羽田朝子記念映画上映会では、邦画で日本語字幕が付いているバリアフリー対応の比較的新しい作品も選定しながら、懐かしい映画を含めた2本立ての映画会を市内文化ホール10か所を会場に開催し、より多くの鑑賞者を得ることができたことで、文化ホールを身近に感じていただき、市民が気軽に文化に触れる機会となり、文化の振興につなげることができた。	現状維持	津市文化振興基金活用事業をより多くの市民や文化団体の活動に利用いただけるよう、募集期間や選考会議を早めることで、年度当初の文化イベントにも対応が可能になり、芸術活動及び文化活動を支援することができた。 羽田朝子記念映画上映会については、比較的新しい作品を選んだことや当日のパンフレットに次回開催場所の告知などにより来場者を増やすことができたため今後もPRに努める。
文化振興課	ホール整備事業	久居駅周辺地区のまちづくりにおける久居東鷹跡町エリアでのまちづくりビジョンに基づき、文化ホールの整備を行います。 劇場法を踏まえた拠点施設としての事業等を提供するため、既存の文化ホール、創造ホールの改修を行います。	(仮称)津市久居ホールの建設に向けた準備項目の達成度	施設供用開始に向けた諸準備を進めていく過程で年度毎に準備項目を設けてその達成度を計る。			駐車場用地の取得、本体工事の着工、管理運営計画の策定 白山総合文化センターの改修の設計	駐車場用地の取得の完了、建設工事の請負契約の締結。管理運営計画策定に向けた最終の検討委員会の開催。 白山総合文化センターの改修工事に向けた実施設計を行った。	3	駐車場用地の取得、建設工事に着手したことから、指定管理者の選定や設置条例の制定など、供用開始に向けた取組を早急に進める。 白山総合文化センターの実施設設計が完了したことから、改修工事に着手する。	現状維持	指定管理者の選定や、供用開始に向けた施設のPR、地域の活性化に向けた取組を行う。 白山総合文化センターの改修工事を行うとともに、サンヒルズ安濃の改修工事に向けた実施設計を行う。